



CD **2** 枚付

耳から覚える

日本語能力試験

聴解トレーニング N2

小原亜紀子
横井 和子

3ステップで「^{ほん もの}本物の^{ちょう かい りよく}聴解力」を^み身に^つ付ける

Step **3** → ^{じっ せん りよく}実践力

^{し けん おな}試験と同じ^{けい しき}形式の問題を^{もん だい と}解き得点^{とく てん}をアップさせる

Step **2** → ^{おう よう りよく}応用力

^{き そ りよく}基礎力をもとに「^{もん だい と}問題の^{かた}解き方」を^{り かい}理解し^み身に^つ付ける

Step **1** → ^{き そ りよく}基礎力

「^{いつ}5つの^{れん しゅう}練習」を^く繰り返し^{かえ}返すことで^き聞き方^{かた}のコツをつかむ



耳から覚える 日本語能力試験
聴解トレーニング
N2

常州大学图书馆
藏书章

著者紹介：

小原亜紀子（おばら あきこ）

名古屋外国語大学日本語教育センター 講師

横井和子（よこい かずこ）

名古屋 YWCA 学院日本語学校 講師

耳から覚える

日本語能力試験聴解トレーニングN2

2011 年 8 月 2 日 初版発行

著 者 小原亜紀子・横井和子

イラスト 秋本麻衣

発行者 平本照磨

発行所 株式会社アルク

〒168-8611 東京都杉並区永福 2-54-12

電話 03-3323-5514（日本語書籍編集部）

03-3327-1101（カスタマーサービス部）

編集・DTP 有限会社ギルド

印刷所 萩原印刷株式会社

©2011 小原亜紀子・横井和子

Printed in Japan

乱丁・落丁本はお取替えいたします
（定価はカバーに表示してあります）

PC：7011046

地球人ネットワークを創る



アルクのシンボル
「地球人マーク」です。

ほんしよ 本書は2010年から施行^{しこう}されている新しい日本語能力試験^{ちようかい}の聴解問題のための練習問題集です。新試験では、以前^{いぜん}に比べて聴解問題の種類が増え、さまざまな形式で聴解力を問われることになりました。本書では、この試験を受ける日本語学習者の方が、試験の形式^なに慣れ、得点^{とくてん}を伸ばせるように練習を考えました。

ほんしよ 本書の練習問題の中には、語彙を増やすための練習や、読んで解く問題もあり、聴解^{ちようかい}ではないように思われるかもしれませんが、それらは基礎^き的^{そてき}な力を養^{やしな}うための練習です。聴解^{ちようかい}といっても、日本語を理解することに変わりはありません。音、語彙、文型、文脈、話題に関する知識など、さまざまなヒント^{かつよう}を活用して、話の内容を理解する活動です。そうしたヒント^{こうかてき}を効果的に使い、日本語母語話者に近い聞き方ができるように、自分の聞き方を振り返りながら練習を進めてください。

ほんしよ 本書は、日本語能力試験の聴解問題^{ちようかい}に対応^{たいおう}した構成^{こうせい}となっていますが、上記のとおり、聴解^{ちようかい}力を伸ばすための基礎^き的^{そてき}な力を養^{やしな}うことを目標^{もくひょう}としています。ですから、試験対策^{たいさく}としてだけでなく、ふだん^{ちようかい}の聴解の授業や、自宅^{ちようかい}で聴解練習をしたい方にも使用していただける内容となっています。

●ほんしよ 本書の特長

- 1) ほんしよ 本書は、日本語能力試験の問題に合わせて、ユニット^{こうせい}を構成しています。

Unit 01 課題理解^{かだいりかい}

Unit 02 ポイント理解

Unit 03 概要理解^{がいよう}

Unit 04 即時応答^{そくじおうとう}

Unit 05 統合理解^{とうごう}

- 2) ほんしよ 本書は、基礎^き的^{そてき}な力をつける練習から始めて、徐々に本試験の問題に近い形式で練習できるように構成^{こうせい}してあります。

Step 1 基礎^き的^{そてき}な力をつける 【練習】



各問題を解くために必要な力をつける練習です。「音の聞き取り」「聴解のための語彙・表現」「予測」「話者の心情を理解する」「情報の整理」の五つの練習があります。

↓
Step 2 その章で学んだことを試してみる 【まとめの問題】
各ユニットの最後にあります。実際の問題と同じ形式のものを解きます。

↓
Step 3 試験の形式で問題を解いてみる 【実践問題】
本試験と同じ形式の問題を用意しました。問題数は本試験と異なりますが、試験に慣れるために、また試験前の力試しにやってみてください。

3) 各章の練習問題の目的は、以下の通りです。

○ Step 1 【練習】

- ①「音の聞き取り」(Unit 01・02・03)：話しことばでは語の音が一部変化することがあります。話し手の言い方によるものもありますが、ここでは母語話者の発話によく見られる音の変化を取り上げました。あまり母語話者の話を聞く機会がない人は、ここで音の変化を覚えてください。
- ②「聴解のための語彙・表現」(Unit 01・02・03・04・05)：文法や読解で勉強して知っているはずの語彙や表現も、慣れないと聞いたときに理解が難しいものです。ここでは擬音語・擬態語、外来語、漢語、敬語の四つを取り上げ、耳で聞いて理解する練習を行います。
- ③「予測」(Unit 01・02・03・05)：話を聞きながらその先を予測するのは、効率的に聞くために大切な能力です。母語では日常的にやっている聞き方ですが、外国語である日本語でこうした聞き方ができるように練習してください。
- ④「話者の心情を理解する」(Unit 02・04)：話しことばでは、ちょっとした表現やことばづかいで、相手の考えや意図がわかります。ここでは、よく使われることばや表現とそれが意味する内容を、耳で聞いて理解できるよう練習を行います。
- ⑤「情報の整理」(Unit 01・03・05)：実際の試験では問題は1度しか聞けませんから、聞き取った情報を上手にメモしながら聞く必要があります。ここでは実際の問題と同じ形式の問題を聞いて、聞くコツをつかみ、メモを上手にとる練習をします。

○ Step 2 【まとめの問題】

まとめの問題は、三段階^{だんかい}に分かれています。

まずは自分で問題1を解^といてみましょう。その後、スクリプトと解き方^とのヒントで、どこをどう聞いて考えたらいかがが確認できます。そして、もう一度、同じ形式の問題2にチャレンジしてください。

○ Step 3 【実践問題^{じっせん}】

本試験と同じ形式の問題を2回分用意しました。本試験との問題数の比較^{ひかく}は以下の通りです。

	N2	
	本試験	ほんしょ 本書
かだいりかい 課題理解	5 問	4 問
ポイント理解	6 問	4 問
がいよう 概要理解	5 問	4 問
そくじおうとう 即時応答	12 問	8 問
とうごう 統合理解	4 問	3 問

1) 【練習】

【練習】は、大きく、「読んで解く問題」「聞いて解く問題」に分かれています。

「読んで解く問題」は、CDに音声が入っていません。短文を読んで答えるものや、読解の内容把握の問題のようになっているものもあります。わからない部分を何度でも読むことができますから、じっくり読んで、考える練習をしてください。

「聞いて解く問題」は、CDに音声が入っているので、それを聞きながら解いてください。聞き取った語を書くもの、会話を聞いて選択肢から内容と合っているものを選ぶ問題など、さまざまです。

以下は、「予測」の問題の例です。

CDに音声は入っていません。これは、後ろの文を考える問題ですから、適切な文を作って書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

3 予測 (3)

練習1 問題文を読んで、後ろに続く文を予測して書いてください。_____のことばがヒントになります。

(例) 彼は何度も記録に挑戦し続けた。そして ついに (新しい記録を出した)。

(1) A: 雲一つないね。いい天気になりそうだ。

B: だけど, ()。

(2) A: 河合さん、電車に乗り遅れて少し遅れるって。

B: そうか, じゃ, ()。

(3) A: 田中さん、学生時代にスペインに住んでたんだって。

B: どうりで, ()。

03



練習2 CDを聞いて、後ろに続く文を予測して書いてください。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

このマークがついている問題は、CDに音声が入っています。ここでは、CDの音声は文の途中で切れますから、その後ろに続く文を考えて書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

2) 【まとめの問題】

ここでは問題の流れを説明しています。

5 まとめの問題

課題理解問題は、以下の通りです。

- ① 状況説明文と質問文を聞く。
- ② まとまりのあるテキストを聞く。
- ③ 質問文を聞く。
- ④ 選択肢(印刷)の中から答えを選ぶ。 *選択肢は文の場合と絵の場合があります。

ここでは、本試験と同じ形式の問題で練習します。まず、CDを聞いて問題1を解いてみましょう。次のページに問題の SCRIPT と解説があります。よく読んで、問題の形式、解き方のヒントや手順を考えてください。形式がわかったら、問題2をやってみましょう。

01



問題 1

この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. 資料をカラーで14部コピーする
2. 資料をカラーで16部コピーする
3. 資料を白黒で12部コピーする
4. 資料を白黒で15部コピーする

一度問題を解いてみましょう。

問題 1 スクリプトと解き方のヒント

会社で、男の人と女の人が話しています。男の人はこのあと、何をしますか。

M: 会議の資料、できた?

F: ええ、プリントアウトは終わったわ。

M: 何か手伝おうか?

F: ありがとう。じゃ、コピーをお願いい。

M: オッケー。何部?

F: 12部。あ、部長と課長、それから記録用にファイルの分も2部お願いい。

M: 12部、部長、課長、ファイル、と。あれ? このグラフ、カラーだね。

F: ええ、そのほうが見やすいかと思っ

M: じゃ、カラーでコピーする?

F: どうかなあ。もったいないから白黒にしたほうがいいかなあ。

M: せっかくだから、このままでいいよ。

F: そう。じゃ、お願い。

男の人はこのあと、何をしますか。

1. 資料をカラーで14部コピーする
2. 資料をカラーで16部コピーする ➡「カラー」で「16部」ですから、答えは2番になります。
3. 資料を白黒で12部コピーする
4. 資料を白黒で15部コピーする

答え [2]

問題を解いてから、スクリプトを読んでください。

➡「お願い」と「オッケー」からコピーをすることがわかります。

➡ファイルの分が2部になっていることに注意してください。

解き方のポイントやヒントです。参考にして解き方を考えてください。

➡「このまま」でということばから、カラーでコピーすることがわかります。

解き方がわかったところで、もう一度問題にチャレンジしましょう。



問題 2

この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. 電気屋へ行く
2. 自分で直す
3. 修理を頼む
4. 何もしない

答え []

3) 本冊と別冊

^{ほんさつ}本冊には、以上の問題のほか、CD に録音されている音声の全スクリプトを^{かんまつ}巻末に^{けいさい}掲載しました。CD の内容を文字で確認したいときに、各問題についている CD マーク () の番号と^あ照らし合わせて使用してください。

^{べっさつ}別冊には、解答・解答例と解説が^{けいさい}掲載されています。問題の解答の確認や、わからなかったり間違えたりした問題の解答方法を知りたい場合に参考にしてください。

ほんしょ 本書で勉強する方へ.....	2
ほんしょ 本書の使い方	5
ちょうかい 聴解試験の概要.....	10

Unit 01 か だい り かい 課題理解 13

 02~08	1	音の聞き取り (1) ~ はつおん 撥音.....	14
		練習	
	2	聴解のための語彙・表現 (1) ~ ぎ おん ご 擬音語・ ぎ たい ご 擬態語.....	15
		ちょうかい 練習 1・練習 2	
	3	予測 (1).....	16
		よ そく 練習 1・練習 2	
	4	情報の整理 (1).....	17
		練習 1・練習 2	
	5	まとめの問題.....	19
		問題 1・問題 2	

Unit 02 ポイント理解 21

 09~17	1	音の聞き取り (2) ~ そくおん 促音.....	22
		練習	
	2	聴解のための語彙・表現 (2) ~ が い ら い ご 外来語.....	23
		ちょうかい 練習 1・練習 2	
	3	予測 (2).....	25
		よ そく 練習 1・練習 2	
	4	話者の心情を考える (1).....	26
		練習 1・練習 2・練習 3	
	5	まとめの問題.....	29
		問題 1・問題 2	

Unit 03 がいよう 概要理解 31

 18~24	1	音の聞き取り (3) ~その他.....	32
		練習	
	2	聴解のための語彙・表現 (3) ~ かん ご 漢語 (1).....	33
		ちょうかい 練習 1・練習 2	
	3	予測 (3).....	35
		よ そく 練習 1・練習 2	

4 情報の整理 (2)	36
練習 1・練習 2・練習 3	
5 まとめの問題	39
問題 1・問題 2	

Unit 04 そく じ おうとう 即時応答 41

CD 1 25~31	1 聴解のための語彙・表現 (4) ~敬語	42
	練習 1・練習 2	
	2 話者の心情を考える (2)	44
	練習 1・練習 2・練習 3	
	3 まとめの問題	45
	問題 1・問題 2	

Unit 05 とうごう 統合理解 47

CD 1 32~37	1 聴解のための語彙・表現 (5) ~漢語 (2)	48
	練習 1・練習 2	
	2 予測 (4)	50
	練習 1・練習 2	
	3 情報の整理 (3)	51
	練習 1・練習 2	
	4 まとめの問題	53
	問題 1・問題 2	

じっせん 実践問題 57

CD 2 01~56	■ 第 1 回.....	58
	■ 第 2 回.....	66

スクリプト 77



耳から覚える 日本語能力試験
聴解トレーニング
N2

ほんしよ 本書は2010年から施行^{しこう}されている新しい日本語能力試験^{ちようかい}の聴解問題のための練習問題集です。新試験では、以前に比べて聴解問題の種類が増え、さまざまな形式で聴解力を問われることになりました。本書では、この試験を受ける日本語学習者の方が、試験の形式に慣れ、得点^{とくてん}を伸ばせるように練習を考えました。

ほんしよ 本書の練習問題の中には、語彙を増やすための練習や、読んで解く問題もあり、聴解^{ちようかい}の練習ではないように思われるかもしれませんが、それらは基礎^{きそてき}的な力を養うための練習です。聴解^{ちようかい}といっても、日本語を理解することに変わりはありません。音、語彙、文型、文脈、話題に関する知識など、さまざまなヒントを活用^{かつよう}して、話の内容を理解する活動です。そうしたヒントを効果的に使い、日本語母語話者に近い聞き方ができるように、自分の聞き方を振り返りながら練習を進めてください。

ほんしよ 本書は、日本語能力試験の聴解問題に対応した構成^{こうせい}となっていますが、上記のとおり、聴解力^{ちようかい}を伸ばすための基礎^{きそてき}的な力を養うことを目標^{もくひょう}としています。ですから、試験対策としてだけでなく、ふだんの聴解^{ちようかい}の授業や、自宅で聴解練習^{ちようかい}をしたい方にも使用していただける内容となっています。

ほんしよ ●本書の特長

- 1) ほんしよ 本書は、日本語能力試験の問題に合わせて、ユニットを構成^{こうせい}しています。

Unit 01 課題理解^{かだいりかい}

Unit 02 ポイント理解

Unit 03 概要理解^{がいよう}

Unit 04 即時応答^{そくじおうとう}

Unit 05 統合理解^{とうごう}

- 2) ほんしよ 本書は、基礎^{きそてき}的な力をつける練習から始めて、徐々に本試験の問題に近い形式で練習できるように構成^{こうせい}してあります。

Step 1 基礎^{きそてき}的な力をつける 【練習】



各問題を解くために必要な力をつける練習です。「音の聞き取り」「聴解のための語彙・表現」「予測」「話者の心情を理解する」「情報の整理」の五つの練習があります。



Step 2 その章で学んだことを試してみる 【まとめの問題】

各ユニットの最後にあります。実際^{じっさい}の問題と同じ形式^とのものを解^ときます。



Step 3 試験^との形式で問題を解^といてみる 【実践問題^{じっせん}】

本試験と同じ形式の問題を用意しました。問題数は本試験^{こと}と異なりますが、試験に慣^なれるために、また試験前^{ちからだめ}の力試しにやってみてください。

3) 各章の練習問題の目的は、以下の通りです。

○ Step 1 【練習】

- ① 「音の聞き取り」 (Unit 01・02・03) : 話しことばでは語の音が一部変化することがあります。話し手の言い方によるものもありますが、ここでは母語話者の発話によく見られる音の変化を取り上げました。あまり母語話者の話を聞く機会がない人は、ここで音の変化を覚えてください。
- ② 「聴解のための語彙・表現」 (Unit 01・02・03・04・05) : 文法や読解で勉強して知っているはずの語彙や表現も、慣れないと聞いたときに理解が難しいものです。ここでは擬音語・擬態語、外来語、漢語、敬語の四つを取り上げ、耳で聞いて理解する練習を行います。
- ③ 「予測」 (Unit 01・02・03・05) : 話を聞きながらその先を予測するのは、効率的に聞くために大切な能力です。母語では日常的にやっている聞き方ですが、外国語である日本語でこうした聞き方ができるように練習してください。
- ④ 「話者の心情を理解する」 (Unit 02・04) : 話しことばでは、ちょっとした表現やことばづかいで、相手の考えや意図がわかります。ここでは、よく使われることばや表現とそれが意味する内容を、耳で聞いて理解できるよう練習を行います。
- ⑤ 「情報の整理」 (Unit 01・03・05) : 実際の試験では問題は1度しか聞けませんから、聞き取った情報を上手にメモしながら聞く必要があります。ここでは実際^{じっさい}の問題と同じ形式の問題を聞いて、聞くコツをつかみ、メモを上手にとる練習をします。

○ Step 2 【まとめの問題】

まとめの問題は、三段階^{さんかい}に分かれています。

まずは自分で問題1を解^といてみましょう。その後、スクリプトと解き方のヒントで、どこをどう聞いて考えたらいいかが確認できます。そして、もう一度、同じ形式の問題2にチャレンジしてください。

○ Step 3 【実践問題^{じっせん}】

本試験と同じ形式の問題を2回分用意しました。本試験との問題数の比較^{ひかく}は以下の通りです。

	N2	
	本試験	ほんしょ 本書
かだいりかい 課題理解	5 問	4 問
ポイント理解	6 問	4 問
がいよう 概要理解	5 問	4 問
そくじおうとう 即時応答	12 問	8 問
とうごう 統合理解	4 問	3 問

1) 【練習】

【練習】は、大きく、「読んで解く問題」「聞いて解く問題」に分かれています。

「読んで解く問題」は、CDに音声が入っていません。短文を読んで答えるものや、読解の内容把握の問題のようになっているものもあります。わからない部分を何度でも読むことができますから、じっくり読んで、考える練習をしてください。

「聞いて解く問題」は、CDに音声が入っているので、それを聞きながら解いてください。聞き取った語を書くもの、会話を聞いて選択肢から内容と合っているものを選ぶ問題など、さまざまです。

以下は、「予測」の問題の例です。

CDに音声は入っていません。これは、後ろの文を考える問題ですから、適切な文を作って書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

3 予測 (3)

練習1 問題文を読んで、後ろに続く文を予測して書いてください。_____のことばがヒントになります。

(例) 彼は何度も記録に挑戦し続けた。そして ついに (新しい記録を出した)。

(1) A: 雲一つないね。いい天気になりそうだ。

B: だけど, ()。

(2) A: 河合さん、電車に乗り遅れて少し遅れるって。

B: そうか, じゃ, ()。

(3) A: 田中さん、学生時代にスペインに住んでたんだって。

B: どうりで, ()。

03

練習2 CDを聞いて、後ろに続く文を予測して書いてください。

(1) _____

(2) _____

(3) _____

このマークがついている問題は、CDに音声が入っています。ここでは、CDの音声は文の途中で切れますから、その後ろに続く文を考えて書いてください。解答例は別冊に書いてあります。

2) 【まとめの問題】

ここでは問題の流れを説明しています。

5 まとめの問題

課題理解問題は、以下の通りです。

- ① 状況説明文と質問文を聞く。
- ② まとまりのあるテキストを聞く。
- ③ 質問文を聞く。
- ④ 選択肢(印刷)の中から答えを選ぶ。 *選択肢は文の場合と絵の場合があります。

ここでは、本試験と同じ形式の問題で練習します。まず、CDを聞いて問題1を解いてみましょう。次のページに問題の SCRIPT と解説があります。よく読んで、問題の形式、解き方のヒントや手順を考えてください。形式がわかったら、問題2をやってみましょう。

01



問題 1

この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. 資料をカラーで14部コピーする
2. 資料をカラーで16部コピーする
3. 資料を白黒で12部コピーする
4. 資料を白黒で15部コピーする

一度問題を解いてみましょう。

問題 1 スクリプトと解き方のヒント

会社で、男の人と女の人が話しています。男の人はこのあと、何をしますか。

M: 会議の資料、できた?

F: ええ、プリントアウトは終わったわ。

M: 何か手伝おうか?

F: ありがとう。じゃ、コピーをお願いい。

M: オッケー。何部?

F: 12部。あ、部長と課長、それから記録用にファイルの分も2部お願いい。

M: 12部、部長、課長、ファイル、と。あれ? このグラフ、カラーだね。

F: ええ、そのほうが見やすいかと思っ。

M: じゃ、カラーでコピーする?

F: どうかなあ。もったいないから白黒にしたほうがいいかなあ。

M: せっかくだから、このままでいいこうよ。

F: そう。じゃ、お願い。

男の人はこのあと、何をしますか。

1. 資料をカラーで14部コピーする
2. 資料をカラーで16部コピーする
3. 資料を白黒で12部コピーする
4. 資料を白黒で15部コピーする

答え [2]

問題を解いてから、スクリプトを読んでください。

⇒「お願い」と「オッケー」からコピーをすることがわかります。

⇒ファイルの分が2部になっていることに注意してください。

解き方のポイントやヒントです。参考にして解き方を考えてください。

⇒「このままで」ということから、カラーでコピーすることがわかります。

解き方がわかったところで、もう一度問題にチャレンジしましょう。



問題 2

この問題では、まず質問を聞いてください。それから話を聞いて、下の1から4の中から、最もよいもの一つを選んでください。

1. 電気屋へ行く
2. 自分で直す
3. 修理を頼む
4. 何もしない

答え []